

平成30年度帰国生入試（平成30年春季入学）

試験問題

小論文問題

（生物資源科学部 生命科学科）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は3ページである。解答用紙は4枚、下書き用紙は3枚である。指示があってから確認し、解答用紙及び下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

次の問1と問2の両方に解答しなさい。なお、解答は必ず問ごとに指定された解答用紙の所定の欄に記入すること。

下書き用紙は解答の下書き、考えのメモ、文章の構成等、裏面を含めて自由に用いてかまいません。ただし、下書き用紙も提出すること。

問1

生物の進化を駆動するメカニズムとして有力な理論が現在までに2つ提唱されている。ダーウィンの「自然選択説」と木村資生の「中立説」である。それぞれの理論を詳しく説明せよ。ただし、「変異・淘汰・遺伝・偶然・DNA・タンパク質・遺伝的浮動」の語句を適宜用いて説明しなさい。

問 2

次の文章は 2016 年にノーベル医学生理学賞を受賞された大隅良典先生の講演による「50 年の研究生活から思う基礎科学研究」からの抜粋です。文章を読んで下の問 2-1 と問 2-2 に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(サイエンスポータルのコラムより抜粋)

問 2-1

上の文章を300字以内で要約しなさい。

問 2-2

あなたは生命科学科でどのような研究を行ないたいと考えていますか。また、その研究は将来どのような点で役に立つと考えていますか。あなたの考えを 500 字以内で説明しなさい。